

情報共有

(2枚)

宮邸班 NISA班 ← 70レス対応T
※ NISA 分室へお渡し済み

20

新規テキストドキュメント.txt

東京電力株式会社

各位

福島の本日(5/17)のマスコミ対応について情報共有いたします。

以下、転送。

5/17(火)9時定例レク概要

<説明内容>

①プラント関連パラメータの状況報告(5月17日 6:00現在)【口頭説明】

②プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

【1号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- OT/B地下階、トレンチの水位について
- 原子炉格納容器への窒素封入について
- 原子炉代替冷却設備設置工事について

【2号機】

- 消火系ラインからの淡水注入について
- 集中廃棄物処理施設への廃液移送に伴う水位について
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について

【3号機】

- 消火系・給水系ラインからの注水について
- OT/B地下階、トレンチたまり水の水位について
- 代替冷却設備設置のためのガレキ撤去について
- OT/Bから集中ラドへの移送について

【4号機】

- OT/B地下階水位について
- SFP底部支持構造物設置工事について
- SFPへの注水について

【6号機】

- OT/B地下階たまり水の仮設タンクへの移送について

【その他】

- 飛散防止剤の樹脂散布について(有人)
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- 3, 4号機の電源切替工事について
- 3号機トレンチ立坑の閉塞作業について
- メガフロートについて
 - 5/17 8:00頃 小名浜港入港
 - 5/19 夕刻 小名浜港出航予定
 - 5/20 朝頃 1Fに入港予定

<主な質疑>

- Q. 3uT/Bから手中ラドへの移送のポンプ容量は?
- A. ポンプ性能は12m³/hだが、移送距離等による損失を考慮する必要がある。
- Q. 4000tの移送はいつ頃までに終える予定なのか?
- A. 移送容量によるが、仮に12m³/hで計算すれば二週間程度。
- Q. メガフロートは1Fのどこに着岸するのか?
- A. まずは物揚場だと思うが、他の工事状況によっては位置調整が必要なため検討中。
- Q. 先日説明のあった遮屋カバーはいつ頃設置予定?

~~A2~~
21

新規テキストドキュメント.txt

A. 検討中。

Q. 3uT/Bたまり水の量は？
A. 22000m³と想定している。

Q. トレンチについては？
A. トレンチ容量で考えれば4200m³と考えられる。

以上

情報共有

非管理文

(1枚)

新規テキストドキュメント.txt

東京電力株式会社

各位

福島の本日(5/17)のマスコミ対応について情報共有いたします。

以下、転送。

=====
5/17(火)15時定例レク概要

<説明内容>

- ①1Fプラント状況等のお知らせ【資料配付】
- ②プラント関連パラメータの状況報告(5月17日 13:00現在)【口頭説明】
- ③プラント状況、本日の作業状況について【口頭説明】
- 原子炉への淡水注入等について
 - 3u T/B地下階たまり水移送のリークテストについて
 - OT/B地下階、トレンチの水位について
 - 原子炉代管冷却設備設置工事について
 - トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
 - 6u T/B地下階たまり水の仮設タンクへの移送について
 - 飛散防止剤の樹脂散布について
 - リモートコントロール重機によるガレキ撤去について

<主な質疑>

- Q. 2u原子炉建屋には人が入るのか、ロボットか。また、前回の実績は。
A. 前回はロボットが入ったが、今回は人が入るのかロボットか決まっていない。前回の線量は南側2重扉付近で4mSv/hであった。
- Q. 保安員が圧力抑制室が壊れているかもしれないと言っているが。
A. 一つの可能性として否定はできない。
- Q. これまで入れた水量は。
A. 水位が分からないので、正確な量は分からないが確認する。
- Q. 1u地下には、どれくらい水があるのか。
A. OP3000レベルの水位。ドーナツ形状・複雑な配管のためはっきりとは言えないが、6~7000m3くらいと考えられる。
- Q. 人が入って水位を確認したのか。どこからか。
A. 中地下階から人が目視で水面を確認している。
- Q. 発災後、ずっと東電の説明を聞き把握してきたつもりだが、ここ2、3日でこれまで積み上げてきたものがよく分からなくなった。原子炉の状況など全く別物になってしまっている。(損傷率75%→55%→100%)今の状況は以前から知っていて隠していたのか、今回分かったものなのか。CAMS以外の判断データはないのか。
A. 今回は別な解析コードを使って確認したもので、手法や用いるデータが異なっているため、違っている。
- Q. ある外部学会が東電データを使って分析結果を発表したが、今の原子炉状況に合致している。東電でなぜ分析できなかったのか。17:30プレスで(道筋の進捗状況)で再度お尋ねする。
A. 承知した。

以上

情報共有

非管理メモ

(2枚)

新規テキストドキュメント.txt

東京電力株式会社

各位

福島の本日(5/17)のマスコミ対応について情報共有いたします。

以下、転送。

=====
5/17(火)17時30分臨時レク概要

<説明内容>

○「福島第一原子力発電所・事故の収束に向けた道筋」
の進捗状況について【資料配付】

<主な質疑>

- Q. 1uのPCVからの水漏れについてはどう考えているのか？
A. 漏洩箇所は配管の貫通部や電気ケーブルの貫通部、人のはいるハッチ等が考えられるが、シェル部分ではないと思っている。どう対処していくかは検討中である。
- Q. 建屋に滞留する汚染水を処理して再利用する、循環注水冷却を
考えているとのことだが、冠水も同時に行うということか？
A. 冠水作業をあきらめたわけではなく、優先順位として循環注水冷却を先にした。
- Q. 改めて、今回の進捗状況を踏まえて目標を伺いたい。
A. 立地地域を始め多くの方々にご迷惑をおかけしている。避難されている方々が一刻も早く帰宅できるように、原子炉の冷却と放射性物質の放出管理が必要である。今後とも全社を挙げて取り組んでいく所存。
- Q. 線量が高い場所についてはどのように補修するのか？
A. 遮へいする等、様々なアイデアはあるが、決定してからお知らせさせていただきたい。
- Q. 漏洩箇所はいつ頃特定できるのか？
A. 注水を続けていく中でパラメータの分析等によってある程度判断できると考えている。時期については現時点では申し上げられない。
- Q. 高線量の場所が見つかったているが、作業の遅れや順序のくるいはないのか？
A. 現状すべきことはこなしている。高線量箇所についてはしっかりと管理して作業を実施する。
- Q. 工程(期間)は見直さずに進めていけるのか？
A. ステップ1, 2に基づいて、しっかりと実施していく。
- Q. 現状をどうとらえているのか？
新たな問題が出てくることはないのか？
A. 高レベルの線量の水や滞留水の問題はあるが、原子炉は安定しており、管理できていると考えている。
- Q. 仮設防潮堤はどのくらいの津波を想定しているのか？
A. M8程度の余震、津波は約10mを想定して仮設防潮堤を考えている。
- Q. 3uの圧力容器の温度が上がってきているが大丈夫なのか？
A. 現在、注水を消火系から給水系に切り替える作業を行っている。現在、合わせて18m³/hの注水量にして様子を見ている。パラメータ等のデータから傾向を注視していく。

新規テキストドキュメント.txt

- Q. 3uの圧力容器の温度が上がるといことは内部で何か起きて
いるのではないか？
- A. ご質問は再臨界になっているのではないか、という趣旨のもの
だと思うが、社内外の専門家の意見等をお聞きしても再臨界と
いう状況にはならないと確認している。
炉の中でデブリといわれるものが、底部に落下して熱を出して
いる可能性は否定できない。
- Q. このプランは誰が策定したのか？
- A. 当社としての考えだが、統合対策室には国や政府関係者も
おり、そういった方々のご意見もお伺いして策定している。
- Q. 発電所もこのプラン策定に関わっているのか？
- A. 発電所ともよく協議し、納得してもらっていると考えている。

以 上

5

情報共有

非管理文

(2枚)

新規テキストドキュメント.txt

東京電力株式会社

各位

福島の本日(5/17)のマスコミ対応について情報共有いたします。

以下、転送。

=====
5/17(火)20時定例レク概要(本日は、20時20分)

<説明内容>

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(5月17日 午後3時現在)【資料配付】
- ②東北地方太平洋沖地震発生以降の当社福島第一原子力発電所
内外の電気設備の被害状況、外部電源の復旧状況等に係る
指示文書の受領について【資料配付】
- ③当社福島第一原子力発電所の地震発生時における
プラントデータ等を踏まえた対応に関する
経済産業省原子力安全・保安院からの
指示文書の受領について【資料配付】
- ④福島第一原子力発電所敷地内における空気中の
放射性物質の核種分析の結果について(第五十三報)

福島第一原子力発電所付近の海水からの
放射性物質の検出について(第五十五報)
※「小名浜港沖合3km付近 下層」のグラフに誤りがある
ことを説明しました。

福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる
放射性物質の核種分析の結果について(5月16日採取分)

「福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの
放射性物質の検出について」の一部訂正について

福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの
放射性物質の検出について

福島第一原子力発電所構内における土壌中の放射性物質の
核種分析の結果について(続報9)

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果
【全て資料配付】

- ⑤プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】
 - 1uPCV水位について
 - ・D/Wに関して、間接的に水位を測定
 - 3uSFPへの注水について
 - ・消化系、給水系から注水継続中
 - ・RPV温度については低下傾向である
 - 4uSFPについて
 - ・放水実施
 - ・底部支持構造物強化工事について
 - 3, 4u電源切り替え工事について
 - 1u~4uT/B地下階水位について
 - 1u~3uトレンチ立坑水位について
 - 3u大物搬入口前のガレキ撤去について
 - 6uT/B地下階→仮設タンクへの移送について
 - ・約80トン移送。
 - 飛散防止剤の樹脂散布について
 - ガレキ撤去(有人)について

新規テキストドキュメント.txt

- メガフロートについて
- バージ船について
- 2u入域について
 - 入域したとの情報は現在なし

<主な質疑>

Q. 2uR/B入域を本日見送ったのは、なぜか？

A. 準備が整わなかったため。

Q. 明日は、午前から入域するのか？

A. まだ、詳細についての情報はない。
わかり次第、定例レクでお知らせしたい。

Q. 入域は、3uよりも2uが先なのはなぜか？

A. 3uはロボットが線量を計っているが、2uは湿度が高すぎて入域できなかった経緯がある。
よって、改めて入域し、線量計測等を行う。

Q. 3uのRWへの移送は、ポンプ何台？

A. 1台。

以上